

連携医院のご紹介

今回は安佐北区口田にある「誠心の医療で人や環境に優しい医療」を提供している山下医院の山下達博院長・山下正博副院長にお話を伺いました。



山下達博院長と山下正博副院長

医療法人社団 博寿会 山下医院

〒739-1734
広島市安佐北区口田 1-15-10
電話 / 082-843-1011
院長 / 山下達博
診療科目 / 外科・胃腸内科・
耳鼻咽喉科・人工透析内科・
アレルギー科・放射線科・
リハビリテーション科



○いつ開業されましたか。

昭和 58 年 3 月に 19 床の有床診療所として当地に開業しました。透析治療、外科、胃腸内科、耳鼻咽喉科の治療を行なってきました。

○開業されてから今までのことを教えてください。

医療に関するニーズは日々変化しており、時代に応じて経営を考えてまいりました。高齢化が進展する中で地域のニーズに応えるため、リハビリテーションやデイケア・グループホームを運営し、介護の相談窓口として居宅介護支援事業所を設置しました。また高齢化社会における食生活には口腔ケアが必要であり歯科診療所も併設しました。

○力を入れている事は何か？

地域に信頼されるかかりつけ医として、多様な悩み事等も気軽に相談できる場所にしていただけよう日々努力しています。また院内感染・医療事故を起こさないために、スタッフ全員の意識を高める必要があり、継続的な教育に力を入れております。

○毎日の診察で大切にしている事は何か？

とにかく患者さんの話を聞くことです。「手当て」という言葉

がありますが、実際に手を当てて、皮膚の状態や痛みの程度・部位等、頭のとっぺんから足の先まで診察し自分の目で確かめることが大事だと思っています。これは医師になってずっと心掛けていることです。

○県病院はどんなところでですか。

透析患者さんの受け入れは、病院に限られるため難しいところがあるのですが、県病院はすぐに引き受けてくれ、患者さんを元気にして帰らせてくれるので頼りにしています。



山下医院外観



透析室

【取材後記】

院長先生・副院長先生が取材に応じてくださり、お二人ともとても柔らかい雰囲気、日々の診察も患者さんの立場に立って接しておられるお姿が目につきました。患者さんのことを考え支援していただける地域に根付いた医院だと感じました。

2020年10月広報誌『もみじ』掲載



山下医院 HP